

## (別紙)

(評価:◎前年より大きく進んだ ○実施 △前年と変化なし ×実施できなかった ー完了済)

NO	方向性	基本計画における方策	分類	令和3年度の目標	令和3年度実施状況	評価
1	新規	マイ食器, マイボトルの利用	発生抑制 (リデュース)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	「マイ食器・マイボトル」の啓発は, 広報紙やホームページで行っておりますが, アンケート結果で, ごみの情報を入手する方法で多いものは, 家庭ごみ収集カレンダーや家庭ごみハンドブック・チラシであったため, 今後作成していく家庭ごみハンドブック等で情報発信していく。	○
2	新規	「事業系ごみハンドブック」の発行	適正処理	事業系指定ごみ袋導入年度に作成します。	事業系ごみハンドブックは次回は令和5年4月を予定しています。	ー
3	新規	小型家電及び乾電池回収ボックスの設置	再生利用 (リサイクル)	リネットジャパンリサイクル株式会社との提携を引き続き周知します。	令和2年12月より, リネットジャパンリサイクル株式会社と提携し, パソコン, 小型家電のリサイクルを開始し, 広報でも周知しました。令和3年4月～令和4年12月4, 223kg	◎
4	拡充	マイバッグの利用	発生抑制 (リデュース)	新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら, 可能であればイベントを実施するとともに, 周知啓発します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より, マイバッグ利用のイベントを行うことができませんでした。	×
5	拡充	再生資源集団回収活動の推進	再生利用 (リサイクル)	集団回収の状況をみながら, 集団回収可能な業者の一覧を配布するなど, 継続されるようにすすめます。	新型コロナウイルス感染症拡大及びガソリン等の高騰により回収業者によっては, 小規模の団体の集団回収をしなくなるケースが発生しているため, 集団回収を行っている全団体に, 芦屋市で集団回収を行っている業者の一覧を配布しました。また, 周知啓発を見越し意向調査を実施しました。令和4年1月末現在団体数182 (前年度1団体増加)	○
6	拡充	「スリム・リサイクル宣言の店」の推進	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル)	事業所向け指定ごみ袋導入等アンケートの項目に市民からの回収等をいれており, アンケート結果も踏まえた取組みをします。	「スリム・リサイクル宣言の店」登録のお願いを行いました。令和4年1月末現在58店舗(前年度5店舗減少)	○
7	拡充	排出事業者責任の徹底	適正処理	事業系指定ごみ袋の導入の検討とともに, 事業系のごみ出しルールについて検討します。	市民から通報があった事業所に指導を行いました。また, 事業系ごみの指定ごみ袋の検討を行いました。	○
8	拡充	ごみ処理に関する情報の提供	ー	指定ごみ袋導入等アンケートの結果もふまえて, ホームページ, twitterで啓発します。	ホームページ・特にtwitterでの情報発信に努め, フォロワー数も増加しました。また, 令和3年7月にリサイクルや危険ごみに関する広報番組を放映しました。	○
9	拡充	「家庭ごみハンドブック」 「ごみ収集カレンダー」の発行	再生利用(リサイクル) 適正処理	家庭ごみハンドブックは, 指定ごみ袋導入等アンケートの結果もふまえて, 次回改定時に全面改訂します。	令和3年3月に家庭ごみ収集カレンダーを配布しました。本年度は令和4年3月発行予定。家庭ごみハンドブックは令和5年3月に発行予定	ー
10	拡充	食材や日用品の最後まで使い切り	発生抑制 (リデュース)	引き続き, 食品ロス削減の一環として, フードドライブのイベント実施を行うとともに, ホームページ, twitterで情報を発信します。	令和3年1月13日より市内コープこうべ3店舗で恒常的なフードドライブをはじめました。また, 令和3年9月に行ったキャンペーンに合わせた教育機関での啓発や, 社会福祉協議会と連携した福祉の側面での活用など, 幅広い周知に努め, 1年経過した現在も安定した提供があり, 制度が定着しつつあります。令和3年4月～令和4年2月 1, 217kg。	◎
11	拡充	ごみの展開検査の実施	適正処理	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら, 展開検査を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より, 安全面を考慮しながら実施し, 実施結果もふまえて指定ごみ袋の導入を検討しています。なお, 緊急事態宣言中等は実施を停止していました。令和3年度実績37台	○
12	継続	過剰包装の防止	発生抑制 (リデュース)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
13	継続	製品の長期使用	発生抑制 (リデュース)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△

(別紙)

(評価:◎前年より大きく進んだ ○実施 △前年と変化なし ×実施できなかった ー完了済)

NO	方向性	基本計画における方策	分類	令和3年度の目標	令和3年度実施状況	評価
14	継続	リユース活動の実施	再使用 (リユース)	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントの実施を検討します。	新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが開催できないため、従来より方法をかえ引き続き実施しました。	○
15	継続	環境に配慮した製品等の購入	再生利用 (リサイクル)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
16	継続	生ごみ堆肥化容器の活用	発生抑制 (リデュース)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
17	継続	生ごみの水切り	発生抑制 (リデュース)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
18	継続	12分別の徹底	再生利用 (リサイクル)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	分別方法に関するお問い合わせが多い品目について、広報紙とホームページにて掲載しました。また、本年度より家庭ごみ収集カレンダーに分別方法を記載するようにしました。	○
19	継続	環境に配慮した製品の設計、販売及びサービスの実施	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル)	指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
20	継続	環境学習の実施	—	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、施設見学や出前講座を再開します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より小学生向けの施設見学を中止しました。Twitterで施設の紹介をする等を行っています。	△
21	継続	ポスター展の開催	—	市内の小・中学生を対象に「環境問題・ごみの減量化・市民マナー」をテーマとしてポスター作品を募集・展示します。 ○12月頃実施予定	市内の小・中学生を対象に「環境問題・ごみの減量化・市民マナー」をテーマとしてポスター作品を募集し、12月に2週間展示しました。	○
22	継続	持ち去り防止パトロールの実施	—	重点地区等を精査することにより、より効果的にパトロールを実施します。	重点地区等を精査することにより、より効果的にパトロールを実施しました。	○
23	継続	持ち込みごみ予約制の実施	発生抑制 (リデュース)	引き続き現行の水準を維持できるようすすめます。	予約受付の段階で、センターに搬入可能なもの・不可能なものをご説明することで、ごみの適正処理・排出抑制に取り組まれました。	○
24	継続	適正な料金体系の検討	—	指定袋の導入の検討状況に応じて、必要が生じる場合は、処理料金も検討します。	全庁的な料金の見直しの方法、スケジュールに合わせて検討していきます。(次回令和4年度検討予定)	—
25	継続	有料化の検討	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル) 排出者負担の公平性	指定ごみ袋の導入について検討します。	令和5年10月から指定ごみ袋の本格導入に向けて進んでいます。	◎
26	継続	分別区分の見直しの検討	再生利用 (リサイクル)	指定ごみ袋導入等アンケートの項目にいており、アンケート結果、国の動向等もふまえ、プラスチックの分別について検討を開始します。	国の説明会を受け、検討をすすめています。	○
27	継続	処理センターにおける適正処理	—	排ガス中の水銀濃度他、基準値を超えないよう、引き続き適正に処理を行います。	令和3年度中に排ガス中の水銀濃度等の基準値が超えたことはありません。しかし焼却灰の鉛の値が基準値を超えたため約1か月焼却灰の搬出停止となりました。現在は薬剤を増加する等で対応しています。	×